

杵築市過疎地域持続的発展計画(案)に係るパブリックコメント募集結果について

「杵築市過疎地域持続的発展計画」の策定にあたり、パブリックコメントを実施しましたので、いただいた意見に対し、次のとおり本市の考え方を公表します。今回、ご意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。

1. 募集期間 令和7年12月5日(金)から令和8年1月6日(火)まで(33日間)

2. 募集結果 3件(2人)

3. 意見と回答

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>●進め方に対する提案</p> <p>長期計画はどうしても総花的になってしまふ。そのせいか、本計画案も「合理的で隙の無い内容」となっているのか、素人目には本当に完遂できるのかと疑問が沸きます。どうしても「理想論で固められた内容」の感は否めない。とは言え、市民には具体的な成果が見える様にしなければならないので、そのための「進め方の工夫」が必要だと思います。</p> <p>例えば、</p> <p>(1)先ずは実行できる所や重要な所を優先的に進めて、難しい所は後回しして早く成果が見える様にする。</p> <p>(2)計画案を完全に実行できない場合を想定して、「もっと実現可能な代替案・ステップ案」も作成しておく。実行段階で市民にもその旨を伝えておき、少なくとも代替案は完遂して成果が見える様にする。</p>	<p>(1)につきましては、重要な所(取組)を進めることはもちろんですが、難しい所(取組)についても後回しとはせずに、早急な対応が可能と出来るように担当課や関係課と連携して推進を行ってまいります。</p> <p>次に、(2)ですが、本計画は第3次杵築市総合計画や杵築市デジタル田園都市構想総合戦略に基づく関連した取組を実施し、過疎地域からの脱却を目指すものとなっております。実施した取組については毎年、担当課・評価担当課・外部委員を含めた委員会による3段階での評価を行っております。評価結果に基づき、取組の手法や別の取組の検討等を実施することで計画における目標達成を目指してまいります。</p>
2	<p>●人口減少への提案</p> <p>正論や在るべき論を述べるだけでは人口増は難しいし、もはや日本人を対象とするだけでは人口増は望めそうにない。国際化が進む世界で暮らすのだから、地方都市でも外国人に協力を求めるのは仕方が無い時期に来ています。従って、外国人の雇用・共働や移住・定着の促進等の「外国人と共生する地方都市作りの試み」も計画も織り込むべきだと思います。感情的な抵抗感も予想されるので、進め方には工夫が必要です。例えば、</p> <p>(1)先ずは市民のコンセンサスを得るために、市民との意見交換・対話を通じて杵築市の考え方と計画案を紹介する。既に杵築市内で外国人は働いており、他市でも推進しているので、特別な提案とは思えません。</p> <p>(2)コンセンサスが得られたら、外国人の移住・定着の推進担当係を創り、4~5年の期間限定で本腰を入れて進める。具体案の策定には、市内事業者や市民の知恵・提案も参考にする。そして、効果が無ければ中止する。</p>	<p>外国人に関する取組ですが、本計画内における地域間交流の促進の中で関係人口の内容に含めた形で記載をさせていただいております。</p> <p>(1)、(2)について、外国人に関する個別の計画は策定をしておりませんが、第3次杵築市総合計画や杵築市デジタル田園都市構想総合戦略の中で外国人に係る多文化共生等の取組を記載しております。また、令和6年度より大阪・関西万博を契機とした国際交流を実施しており、今後も継続的な国際交流の取組を進めることで本市における多文化共生の推進に努めてまいります。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
3	移住・子育て支援・企業誘致等の事業提案	本意見は個別具体的な事業提案であるため、今後のまちづくりにおける貴重な意見としてお受けし、関係課へ共有を行います。